

## 事業報告書

1 支援団体名	中島壮年部								
2 事業名称	厳木ダム周辺「水辺の交流とオアシスの郷づくり」事業								
3 実施日時	令和3年4月～令和4年3月								
4 実施場所	唐津市厳木町中島墨田地内及び広瀬地域								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>本年度は、周年を通じて、厳木ダム湖周辺及びダム管理道の除草、ホタル再生事業に加え、オアシスの郷(里山・里川)の環境整備事業を推進。5月からダム管理道等の除草事業を皮切りに、7月には生物多様性保全事業(外来種の川藻等の除去)更に、当初に計画していたイベント(川リンピック)については、新型コロナウイルス蔓延防止対策及び組織の危機管理上中止を余儀なくされましたが、厳木川河川環境調査(水質・生態系等)の学習会を実施。12月は、オアシスの郷づくり第2次整備計画の策定に向けた先進地視察(菊池市)を実施。更に蛍再生事業の一環としての河川敷葦等の伐採。1月は、河川敷の葦、雑木等の焼却活動に加え、里山(オアシスの森)整備の一環として、サツキ、ツツジ等の植樹活動を実施いたしました。</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>ダム周辺及び管理道、河川敷等の環境整備を始め、緑化・景観形成活動等を通じて、ダムや水資源は流域住民の貴重な共有財産であるとの意識が向上しています。更に、生物多様性保全事業の一環として外来種藻等の除去やホタル再生等水資源環境の整備・保全活動に加え、河川環境調査・学習会を通して水資源の重要性及び公益的機能の理解を始め、河川に対する恩恵と愛護思想が培われています。特に、子供たちの情操教育(交流・体験)に資するイベントが開催できなかったことから、今年は、里山づくりに向けた植樹活動を実施することにより、里山の有用性と環境保全の必要性の理解を深めると同時に、オアシスの郷づくりの趣旨と目的が浸透し、個性と魅力ある地域づくりとして地域活性化の起爆剤になっています。</p>								
6 参加内訳	<table border="1"> <tr> <td>総人数</td> <td>206 名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td>158 名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加((1)を除く)</td> <td>48 名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加((1)を除く)</td> <td>0 名</td> </tr> </table>	総人数	206 名	(1) 主催者参加	158 名	(2) 日本人参加((1)を除く)	48 名	(3) 外国人参加((1)を除く)	0 名
総人数	206 名								
(1) 主催者参加	158 名								
(2) 日本人参加((1)を除く)	48 名								
(3) 外国人参加((1)を除く)	0 名								
7 今後の方針	<p>里山と里川の有機的且つ個性的な活用を図る水辺の交流とオアシスの郷づくりの更なる進展を図り、流域及び町内外の人々のプラットフォームとしての役割を果たし、ダムや水資源の重要性と保全意識の醸成と向上を図ります。更に、第2次オアシスの郷づくりに向けての基本構想策定の取り組みを推進し、オンリーワンの里川・里山の創造を加速させ、流域住民、世代間交流や子育て支援、体験・交流等のイベントの充実を図ると同時に情操教育の深化を図ります。これらの活動を通じて、個性と魅力ある交流拠点としての認知度を高め、交流人口や関係人口の増大と中島地域ブランド化の構築を目指します。</p>								

5 / 16 (ダム管理道路除草状況)



7 / 18 (河川環境調査・学習会状況)



7 / 18 (生物多様性保全事業活動状況)



12 / 6 (先進地視察『熊本県菊池市』状況)



1 / 30 (河川敷焼却活動状況)



1 / 30 (オアシスの森植樹活動状況)

